

今の時代の設計に合った検図を実践しよう！

成果につながる 検図実践セミナー

開催日時

2024年 6月19日(水)

オンライン

2024年11月15日(金)

大阪会場

各回とも 10:00～17:00

対 象

- ・設計、品質管理、品質保証、生産技術部門の方
- ・正しい検図の仕組みを理解し、確実な検図が実行できるようになりたい方
- ・島の時代の設計プロセスに合った検図により、昔ながらの検図から脱却したい方
- ・検図のポイントを把握し、検図の効率化を目指す方

講 師

中山 聡史 氏

(株)A&Mコンサルト 取締役

参加料(税込)

法人会員：55,000円/1名

会 員 外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ね ら い

今の時代の設計者には多くの負荷がかかっており、短期間でより高い成果を出すことが求められています。設計部門は会社の中で最も情報を有している部門であり、且つ、他の部門でもできる事を情報として持っている部門でもあるが故、なぜか設計部門に実施すべき業務が集中し、設計者が多忙な状況に陥っているのが現状です。手戻り業務に悩む設計者も多いでしょう。

そのような背景で、「完璧な設計をし、間違いの少ない図面を作成し、検図を実施する」ことが果たしてできるでしょうか？突破口は**効率的な設計とポイントをついた検図の実施**です。今回は検図に関する複数の著書もある中山講師に検図を集中的に学ぶプログラムをご担当いただきます。

検図は図面がこの世の中に誕生した時から存在する古くからある仕組みです。ITの進化も伴って設計のプロセスや手法が大きく変わっているにもかかわらず、この**検図の仕組みは全く変わっていないのが現状**です。設計での生産性を高めるためには、この「**検図**」をより効率的に正確に実行できることがポイントとなります。

本セミナーでは、**現状の設計に合った検図の仕組みや方法を解説し、設計の生産性向上の実現を可能とします**。また、検図だけではなく、**自己検図**についても紹介し、より間違いの少ない図面の実現を可能とします。

こんな課題はありませんか？

- ✓ 検図をしているのに図面ミスが減らない
- ✓ 検図チェックリストの項目が多く、やりきれない
- ✓ 検図の仕組みがなく設計者任せ
- ✓ 検図者になったのはいいものの検図の仕方が分からない
- ✓ 自己検図による図面ミスが減らない

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 現状設計での検図の課題

- (1) 現状の検図(市場調査結果)
- (2) 間違った設計プロセスと検図の進め方
- (3) 正しい設計プロセスと検図の仕組み
- (4) 課題まとめ
- (5) **演習** ～現在の検図の課題を抽出しよう！～

2 設計プロセスのあるべき姿と検図の役割

- (1) 設計の基本概念
- (2) フロントローディング
- (3) 設計プロセスのあるべき姿

3 効率的な設計プロセスと検図

- (1) 変更点・変化点管理の仕組み
- (2) 検図の詳細プロセス
 - ① 検図の詳細内容
 - ② 検図に必要な準備物と仕組み
 - ③ 3DCADと変化点管理と検図
- (4) **演習** ～検図の演習(グループワーク)～

4 自己検図の進め方

- (1) 自己検図とは
- (2) 自己検図のPDCA
 - ① PLAN: チェックリスト
 - ② DO: 自己検図
 - ③ CHECK: 間違いポイントの解析
 - ④ ACTION: チェックリストへのフィードバック
- (3) 自己検図まとめ

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

